

第2次札幌市図書館ビジョン策定に向けた検討

：中・長期的施策 ：短期的施策
 「第1次ビジョンの課題検証」や「図書館協議会答申」等における数字は「第2次ビジョン策定に向けた整理」における - のどれにあたるかを示す。

第1次ビジョンの課題検証

基本方針	重点課題	施策の方向	第1次ビジョンの積み残し
市民の生涯学習のための学習環境を支える図書館	将来の市民ニーズに対応する柔軟性と機動性のある利用者サービスの改善と充実	利用者サービスの充実	1
		児童・青少年サービスの充実	2
		高齢者・障がい者サービスの充実	3
		図書館利用の促進	4
情報化、国際化、高度技術化の進展に対応する図書館	情報内容、情報環境の変化に対応する利用者サービスの質的向上	情報サービスの推進	5
		視聴覚資料の充実	6
		外国語資料の充実	7
市民生活をより豊かにするための知識と情報を発信する図書館	市民の要求に応える魅力のある蔵書・資料構成と情報提供能力向上	資料収集と蔵書構成の充実	8
		レファレンス機能の充実	9
		各図書館との連携の強化	10
		生涯学習機関相互の連携の強化	11
ゆとりある読書空間を提供する図書館	中央図書館を拠点とした有機的な機能分担	図書館機能の整備・充実	12
		図書館施設の整備・充実	13
効果的、効率的、機能的な運営を目指す図書館	柔軟で弾力性のある運営システムの構築	弾力的な管理運営の見直し	14
		専門的職員の育成と配置	15
		市民・企業・行政のパートナーシップの推進	16

図書館協議会答申

-平成21年8月-

- 図書館サービスの評価・検証
 - ・施策は、ほぼ実施済みで着実な成果あり
 - ・高齢者・障がい者サービスの充実が不十分
 - ・中長期的施策は、不断に見直す必要あり
 - ・予算・人員の制約から見直しが必要な面あり
- 札幌市の図書館運営とその課題
 - ・H20年度以降の量的拡大に対応すべく設備・機器の導入、人的資源の有効活用等が必要
 - ・図書館職員が持つ経験や専門知識を磨き、より質の高いものにする必要あり
 - ・厳しい財政状況下、更なる業務の集約と効率化が必要
- 図書館サービス拡充に向けた運営のあり方
 - ・指定管理者制度は、開かれた市民議論が必要
 - ・利用者サービスの単純な業務委託は困難
 - ・運営の効率化・経費削減は必要
 - ・効率的な業務分担や運営手法の検討が必要
- 札幌市のこれからの図書館サービス
 - ・施設・設備更新、今後提供すべきサービスに対応した改修
 - ・人口分布、年齢構成の変化によるサービスや施設のあり方検討
 - ・サービスポイントの考え方の変化への対応
 - ・利用拡大による量的整備、サービスの質的向上
 - ・ICT社会に対応したサービスの充実
- 今後充実すべき課題
 - ・紙媒体から電磁記憶媒体等に保存される資料の収集についての検討
 - ・学校・幼稚園・保育所・地域との連携、中学生・高校生に対応したサービスの充実
 - ・他部局と連携した高齢・障がい者サービスの提供
 - ・モバイル端末等に対応したサービスの実施
 - ・都心にふさわしい図書館の早期実現
 - ・地域の利用者特性に対応したサービスの充実
 - ・小・中・高等学校図書館、大学図書館との連携
 - ・新たな利用者の掘り起こし
 - ・積極的な情報発信活動の推進による市民の活動の場・交流の場としての取組

これからの図書館像

-地域を支える情報拠点をめざして-

- ・課題解決を支援する相談・情報提供機能の強化
- ・図書館のハイブリッド化 高度な情報提供
- ・学校との連携による読書活動の推進、行政・各種団体等との連携による相乗効果の発揮
- ・図書館資源の配分見直し、利用者への積極的な広報、利用者の視点に沿った弾力的運営等

包括外部監査結果報告書

-平成20年度-

- ・指定管理者制度等民間活力導入の検討をすべき

第2次ビジョン策定に向けた整理

普及啓発事業・情報発信・市民活動活性化の推進

中央図書館、地区図書館それぞれの役割や特性に応じた展示、イベント、講演等を通じての積極的、能動的な情報発信を行うことで知的好奇心を刺激する。事業展開にあたって、企業・大学をはじめとする様々な市民の参加を促すことにより図書館を中核としたコミュニティを醸成し、市民活動の活性化を図る。

高齢者・障がい者などへのサービスの充実

高齢者や障がい者などに対して、より快適で利用し易い図書館とするため、新しいサービスの導入を進める。さらに市民が開かれた図書館を目指して、館内案内のユニバーサルデザイン化等を進める。

情報提供機能の充実、新しい媒体への対応

市民の最も身近な情報拠点として、レファレンス機能の強化や資料の充実、利便性の向上を図り、市民活動を支える「知の基盤」となることを目指す。大学図書館等との連携や電子書籍等の新しい媒体への対応、検索・貸出機能の向上を図る。

子どもの読書活動の推進

「第2次札幌市子どもの読書活動推進計画」に則り、計画的かつ効率的・効果的に事業を展開していく。「さっぽろ親子絵本ふれあい事業」や「子ども読書チャレンジプロジェクト」をはじめ、家庭・地域、図書館、学校等、社会全体が連携した様々な取組を引き続き推進する。

より効率的・効果的な図書館運営の検討

指定管理者制度、業務委託導入等の効率的な図書館運営の検討
 蔵書へのICタグ及び自動返本・貸出機導入の検討